

令和5年11月24日

報道機関 各位

## 「チャレンジふくしまフォーラム in 長崎」の開催

長崎大学が後援する、「チャレンジふくしまフォーラム in 長崎」が下記のとおり開催されます。

長崎大学は2011年に「福島未来創造支援研究センター」を設置し、東日本大震災からの復興を目指す福島県を継続的に支援してきました。フォーラムでは、福島未来創造支援研究センターのセンター長も務める、原爆後障害医療研究所の高村昇教授及び折田真紀子准教授が、前長崎市長の田上富久氏、福島県川内村村長の遠藤雄幸氏と「長崎と福島の絆」と題したパネルディスカッションを実施します。

また、交流会においては福島県の食材を使用した長崎の郷土料理等が振舞われる予定となっており、福島県が全国的に高い評価を受ける日本酒も振舞われます。

長崎大学と福島県の結びつきを深めると共に、長崎大学の福島県復興支援活動を広く県民の皆様にご紹介したいと考えておりますので、取材いただきますようよろしくお願いいたします。

### 記

- 1 日時 令和5年12月1日（金）14：00～16：50（開場13：30）
- 2 場所 ホテルニュー長崎（所在地：長崎市大黒町14番5号）
- 3 内容

【第1部】基調講演（14：00～14：30）

『FUKUSHIMA』の未来 / 福島県知事 内堀 雅雄

【第2部】パネルディスカッション（14：40～15：40）

「長崎と福島の絆」

【出演者】長崎大学 原爆後障害医療研究所 教授 高村 昇  
長崎大学 原爆後障害医療研究所 准教授 折田 真紀子  
長崎地域力研究会（前長崎市長） 田上 富久  
福島県川内村 村長 遠藤 雄幸

【第3部】交流会（立食形式）（15：50～16：50）

福島が全国に誇る県産食材を使用した料理や、全国新酒鑑評会でも高い評価を得ている自慢の日本酒などをご用意します。

- 4 参加費 無料

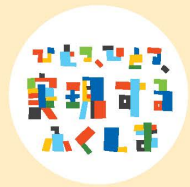
※取材いただけます場合は、11月29日（水）までに、社名、部署名、取材者名、ご連絡先及びスチール撮影又はムービー撮影かを記載の上、以下の問合せ先にメールにてご連絡願います。なお、長崎県又は福島県等に別途取材申し込みを実施されている場合は、本学への申し込みは不要です。

以上

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学 広報戦略課 米田（こめだ） Tel：095-819-2007 Fax：095-819-2156

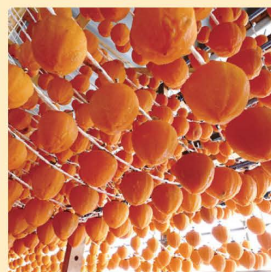
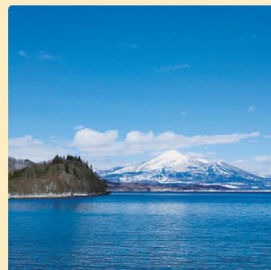
e-mail：kouhou@ml.nagasaki-u.ac.jp



# チャレンジ ふくしまフォーラム in 長崎

## ～長崎と福島の絆～

2011年の東日本大震災・原子力災害からまもなく13年。福島県は様々な課題に取り組みながら、復興の歩みを着実に前に進めています。このたび、これまでにいただいたご支援に対する感謝の思いとともに、福島県が復興に向けてチャレンジする姿や、食や観光などの魅力をお伝えする「チャレンジふくしまフォーラム」を長崎で開催します。この機会に、是非お越しください。



**日時** 2023年12月1日(金)

開場・受付開始／13:30 開会／14:00

**会場** ホテルニュー長崎

長崎市大黒町14番5号(JR長崎駅隣接・徒歩約5分)

- 基調講演・パネルディスカッション／3F鳳凰閣 東の間
- 交流会／3F鳳凰閣 西の間

**対象** 長崎県内の企業・団体・学校・自治体関係者の皆様

**参加無料**  
(定員100名)

司会

NIB長崎国際テレビ アナウンサー  
甲斐 菜々子



**第1部** 基調講演

(14:00～14:30)

「FUKUSHIMA」の未来(仮)

福島県知事 内堀 雅雄



**第3部** 交流会

(15:50～16:50)

福島県産の食材を使ったお料理と自慢の日本酒をご用意します。

(立食形式)



**第2部** パネルディスカッション (14:40～15:40)

長崎と福島の手紙



長崎大学 教授  
高村 昇



長崎大学 准教授  
折田 真紀子



前長崎市長  
田上 富久



福島県川内村長  
遠藤 雄幸

※敬称略 ※プログラム及び出演者は予告なく変更となる場合があります。

※食材・お酒の写真はイメージです。

主催 / 福島県

後援 / 長崎県、長崎市、長崎大学、長崎県商工会連合会、  
長崎県商工会議所連合会、長崎県中小企業団体中央会 (後援申請中含む)

参加申込方法は裏面より



## 参加申込方法

参加ご希望の方は、下記の申込フォームより氏名、電話番号、メールアドレス、所属する企業・団体名の名称・所在地・部署名・役職・業種・交流会参加希望の有無を、ご記入の上、お申し込みください。

**締切** 2023年11月17日(金)

- ◎申込多数の場合は、抽選とさせていただきます。(定員100名)
- ◎当選者のみ、ご登録いただいたメールアドレスに、当選通知メールをお送りします。(11月下旬予定)
- ◎当日、受付にて当選通知メールをご掲示の上、ご入場ください。
- ◎37.5度以上の発熱、咳などの症状のある方は入場をご遠慮ください。

### 日本酒の試飲

交流会では20歳以上の方に福島県産のお酒を提供します。試飲をご希望の方は公共交通機関をご利用ください。

### 申込フォーム

以下のURLまたは二次元コードよりアクセスし、申込フォームに必要事項をご記入の上、送信してください。

<https://fukushima-nagasaki.jp>

チャレンジふくしまフォーラムin長崎

検索



## アクセス方法



### アクセス

JR長崎駅「東口」より徒歩約5分  
(JR長崎駅隣接)  
路面電車「長崎駅前駅」電停より徒歩約5分

### 住所

長崎市大黒町14番5号

## お問い合わせ

「チャレンジふくしまフォーラムin長崎」事務局 **電話 092-715-4354** (平日10:00~17:00)

※応募者の個人情報は、本イベント運営のためにのみ、福島県と事務局が管理・共同利用します。

## 「チャレンジふくしまフォーラムin長崎」パネリスト(敬称略)



長崎大学原爆後障害医療研究所  
国際保健医療福祉学研究分野(原研国際)  
教授

**高村 昇**

たかむら のぼる

長崎市出身。専門は被ばく医療学。2020年から東日本大震災・原子力災害伝承館(伝承館)の館長を務める。2011年の福島第一原子力発電所事故直後から放射線被ばくと健康影響について、科学的な見地から福島を支援。また避難生活から帰還を開始した川内村や、富岡町、大熊町、双葉町の復興支援にも携わる。

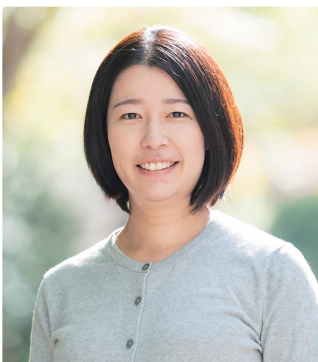


前長崎市長  
長崎地域力研究会代表

**田上 富久**

たうえ とみひさ

長崎県五島市出身。2007年から2023年まで長崎市長を4期務めた。市長在任中、職員の派遣や被災地の子どもたちの受け入れのほか、自らも福島県を訪問し、応援メッセージを伝えるなど、福島支援に心を砕いてきた。8月9日の長崎平和宣言では、必ず「福島に寄り添います」との一文を加えていた。



長崎大学原爆後障害医療研究所  
国際保健医療福祉学研究分野(原研国際)  
准教授

**折田 真紀子**

おりた まきこ

長崎市出身。長崎大学大学院で放射線に関する保健、被ばく医療学を学び、2013年4月に設置された「長崎大学川内村復興推進拠点」研究員として川内村に入った。看護師や保健師の免許を持ち、放射線に対する正しい理解の普及を通じて、住民の健康管理や、不安の解消に取り組み続けている。



福島県川内村長

**遠藤 雄幸**

えんどう ゆうこう

福島県川内村出身。2004年より川内村村長。福島第一原子力発電所事故後、全村避難を経験。2012年1月に「帰村宣言」し、新しい村作りに取り組んでいる。2018年の「長崎くんち」で奉納された山車「太鼓山(コッコデシヨ)」を新調にするにあたり、川内村産ヒノキを無償提供した縁もある。